

令和6年度 札幌工科専門学校自己評価

- 1 学校自己評価は、本校教育経営マネジメントの一環として、1年間の教育活動、公務運営について評価を行い、反省点と課題を明らかにし、次年度の計画、改善に活かすことを目的とする。
- 2 評価は、教職員が各項目について、担当者として及び全校的な視点から行うものとする。
- 3 評価は下記の5段階で行うものとする。
5：良い 4：やや良い 3：普通 2：やや不十分 1：不十分
- 4 所見欄には、評価について補完を要することや、次年度に向けての課題や改善策等についての意見を記入する。
- 5 令和7年2月14日（金）までに回答を済ませ、Teamsのチャットで亀田に送信すること。

I 教育理念・目標

項目	評価	所見
①教育目標は、学生・学校の実態に即し、本校の目指す目標として適切であったか (本校の教育目標は学生の実態に適合しているか)	3.7	科・コースごとに認識および活用の違いがある。 概ね適合 おおむね適切だったと思います。
②学校教育目標は、学生に周知され、学生生活を送る上での指針となっていたか (学生にとって教育目標が学生生活の指針となっているか)	3.2	各ホームルームで周知しているが、中々学生の行動にはつながっていない 科・コースごとに認識および活用の違いがある。 概ね指針となっている 周知はされていたと思います
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか (将来予測される業界のニーズを踏まえた教育目標か)	3.2	階層別研修会と通じて、業界のニーズにできるだけ応えるようにしている。 少子化の中で学校の将来構想を共有できていない 概ねニーズは踏まえている
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか (学生や保護者に教育目標の意味を伝え、理解させているか)	3.1	保護者へ周知する場が少ない。 科・コースごとに違いがあり、学校内で共有ができていない 概ね周知されている 周知されていると思います 数年ぶりに入学式に保護者向け説明会を行うことができた。

II 学校運営

項目	評価	所見
①本校の経営方針について共通理解が図られ、日々の教育活動に反映されていたか。 (経営方針：教育目標を実現させるために経営者が教員に示した指針)	3.3	経営方針の共通理解と教育活動へ反映は十分ではない。 概ね反映されている おおむね反映されていたと思います
②学校運営は協働体制のもと、円滑に進められたか	3.4	以前よりは改善されつつある。 教育活動においては不十分。 概ね進められた
③学校行事は的確な計画・内容のもと、円滑に進められたか	3.6	コロナも収まり、ある程度協働体制の中円滑に行われている。 担当者が事務任せの場合があった。 昨年に比べると協力的な雰囲気が増えた。 概ね進められた 問題なかったと思います 書面配布だけでなく、事前の簡単なミーティングでの情報共有があると、よりよかったと思う場面もありました。
④人事、給与に関する規程等は整備されているか (イエスの就業規則に準じる。Manage内で公開)	3.7	行なわれている。 「教育現場としての学校」での働き方改革が不十分 概ね整備されている 整備されていると思います Manageで公開されている。
⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか (発議から審議、決定までの流れが明確で組織的か)	3.2	意思決定が見えない、共有できない。結論を確認する会議が多い 概ね整備されている
⑥業界や地域社会等に対する法令を遵守する体制が整備されているか	3.8	最低限にとどまっている。 概ね整備されている
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.8	概ね適切になされている 適切だと思います
⑧情報システム化による業務の効率化が図られているか	3.7	Manageが実情に合わず煩雑な場面がある。 概ね図られている ManageやTeamsなどで情報発信が楽になった。受け手が読んでいない場合があるのが課題だ。

III 教育活動

項目	評価	所見
①教育課程（方針・内容）は、本校の教育理念・教育目標を適切に反映されたものであったか (教育課程（カリキュラム）は教育目標を達成させる内容か)	3.6	十分とは言えないが、反映されているものと思われる。 変化の過程により教育理念・教育目標の認識が低くなっているように感じる。 概ね反映されている おおむね反映されていると思います
②今年度の教育課程編成は、適切・効果的であったか (教育課程を動かすために必要な人材や教材を編成しているか)	3.4	人材不足である 概ね適切・効果的であった 前期の時間割配置が複雑であった。
③教科科目の学年配置や時数の配分は適切であったか (現行カリキュラムにおける単位の配分は適切か)	3.1	持ち時間数に大きな差が有る。非常勤講師への依存が高い。 前期日程が短く授業をまとめて実施するなどは教育活動に支障が出ている。 概ね適切であった 学修段階に応じて発展させるカリキュラムとなっているため概ね適切と感じますが、やや密度が濃すぎるという学生意見も散見されます
④シラバスの内容や使用教材は適切であったか	3.6	年による学生の違いにより内容に差異がある。 概ね適切であった おおむね適切だったと思います

⑤授業はシラバスどおりに進めることができたか	3.4	演習・実習および関連教科の連携により進めた部分がある。 概ね進めることができた おおむね進めることができたように思います 時間割単位では部分的な授業変更もありますが、トータルでは実現できていると感じます
⑥少人数制教育による指導の成果が発揮されていたか	3.6	逃げる学生がいるので、学生の学力に対して十分とは言えない。 進路に合わせた指導が行えるようになってきている 概ね発揮されていた
⑦学生の理解度に合わせ、「よく分かる授業」の推進に努めたか	3.4	寝かせない、聞きたくなる授業への授業改善の取り組み おおむね進められているが、資格試験の結果に影響が出た。 概ね推進に努めたか 自分なりに努めました
⑧成績不振者への対応は適切に行われていたか	3.4	逃げる学生がいるので、学生の学力に対して十分とは言えない。 ただ試験対策になっている部分もある。 概ね対応した あまりできていなかったように思います。もう少し成績不振者に対して向き合う事を心掛けたいと思います。 放課後に個別指導を行っていた。
⑨学生による授業評価を学習指導の改善に役立てることができたか (前期・後期の2回実施)	3.4	学生評価の内容を踏まえ、できるだけ分かり易く教えたつもりである。 完全ではないが個々の理解に努め信頼関係を築いている。 概ね改善に役立てることができた おおむね役立てることができたと思います ある程度できていると思いますが、評価内容が話題になる場面がやや少なかった印象はあります
⑩教科科目の評価・評定は適切に行われたか (評価はシラバスに示した基準で算出しているか)	3.9	概ね行われた
⑪定期試験・追再試験の実施(時期・時間等)は適切であったか	3.7	前期期間が短く授業変更が多くあり学習効果の点で難しさを感じる。 概ね適切だった 適切であったと思います
⑫資格取得指導は適切・効果的に進められたか	4.0	施工管理試験に不合格者を連続して出してしまった。 全員目標の資格を取っている。教員の時間配分により工夫が必要 適切に進められた 問題なかったと思います。 資格試験の直前に集中授業を行っている。
⑬現場見学・インターンシップ(企業実習)は適切・効果的に進められたか	4.2	役所をはじめ真摯な協力をいただいている。将来目標につなぐことができている。 適切に進められた 適切であったと思います 実習先や見学先に行く前の下準備・事前指導がきちんとされると、より効果が得られると感じる。
⑭学生へのマナー指導や社会性を身に付けさせる指導は適切に行われ、満足する状況にあるか	2.9	未成年の喫煙などの指導が不十分であった。 満足はしていないが適切に行われている 概ね適切だった あまりできていなかったように思います。 学校全体として、学生気分がなかなか抜けない学生をどのように指導するのが効果的なのか悩む場面もあります。 一部に遅刻、無断欠席をする学生がいる。粘り強い指導もそうだが、毎日来たいと思わせる授業手法、成長を実感できるような授業内容、学校やクラスの雰囲気を整えることも必要。
⑮学生個々の理解に努め、適切な指導が行われていたか (学習指導、生活指導、進路指導)	3.6	少人数制のいいところが出ていると考える。 概ね適切だった それなりに出来たと思います。
⑯体育大会、学園祭等は学生主体のもとその目的を達成できたか (体力向上と親睦、学習の成果を発揮)	3.7	無事開催され、事故もなく終了することができた。 担当教員の指導力によるところが多い。 翌日、欠席が多く出たクラスがあつたのが残念である。検討が必要である。 概ね目的を達成できた おおむね達成できたと思います
⑰関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか (関係業界との連携により得た見識を教育課程に反映しているか)	3.9	まだ改善の余地がある。 概ね行われた 企業に対し学校に求める教育内容についてアンケートを行い参考にした。
⑱職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか (学校関係者評価、教育課程編成委員会の意見を活かしているか)	3.8	理事者との重複が多い 概ね生かされている
⑲人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか (将来、学校の中核を担う若手教員を確保し、その育成に努めているか)	3.0	講師の先生方への偏りが多い。 測量専門養成施設の若手専任教員の養成に努めてほしい。 教員は確保されている 若手教員の確保という点では、もう少し必要と思います。 現在は実行中の過渡期であると認識しています。 若手教員を育成中である。
⑳関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など 資質向上のための取組が行われているか	3.4	研修については推奨している。 外部研修に参加する機会が取れないことが多い。自発的内部研修の実施も なく、また、外部研修後の情報共有が少ない。 取組を行っている 研修機会や制度が比較的充実しており有難く思います。

IV 学修成果

項目	評価	所見
①教育目標の達成度 (1) 基礎学力の向上	3.3	入学者の基礎学力差があり、個別指導の時間が多く必要になる。 2学年になっても加減乗除の計算が出来ない学生もいる。 概ね向上が図られた
②教育目標の達成度 (2) 専門の基礎知識・技術の習得	3.8	基礎学力上にある科目は達成度に至らない場合が出ている。 概ね習得が図られた
③教育目標の達成度 (3) 社会人になるためのマナーと教養を身につける	2.9	社会的なマナーが不身に付いていない学生に対しての指導が不十分であった。 HR活動による指導が中止となっており教員による差がある。 概ね図られている あまり出来なかったですので、今後しっかり対応したい ある程度実現できていますが、マナー面ではやや課題がある学生も散見されると感じます。
④進学率や就職率の向上が図られているか	4.1	概ね向上が図られた
⑤資格取得率の向上が図られているか	4.4	概ね向上が図られた
⑥退学率の低減が図られているか	3.4	2人退学者を出した。 企業委託生でも退学者が出たのは残念である。 概ね図られている
⑦卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.6	全員の情報は把握できていない。総合的な評価の把握にとどまっている。 ある程度は把握している あまり把握していませんでした。今後は把握するようにします 同窓会の参加者と情報交換ができた。
⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか (卒業生より本校への要望を聞き入れ改善しているか)	3.3	まだ不十分だと思う。 概ね改善に活用されている

V 学生支援

項目	評価	所見
①進路指導は学生のニーズ・適性等に即し、適切に進められたか	4.0	概ね進められた 自分なりに進められたと思います
②保護者との連携は密接・効果的に行われていたか	3.8	企業委託生の会社の責任者には問題があれば随時報告している。 必要に応じて行った そう多くはないですが特定の保護者とは効果的に行われたと思います
③基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	3.3	担任を通して、行っている。 概ね行われた あまり行きませんでした
④学生の安全管理のための取組等が行われているか (学生を事件・事故から守る手立てを事前に行っているか)	3.4	移動時の車など時間に余裕がないことが多い。 概ね行われた 業務でも行うKY(危険予知)活動についての話をしています
⑤学生・保護者からの相談体制が整備されているか	3.8	学生・保護者(委託企業)に合わせ対応を行った おおむね整備されていると思います 公式LINEに来る保護者からの問い合わせにも対応している。
⑥進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか	4.0	概ね整備されている おおむね整備されていると思います 情報を残すために受験報告書の入力徹底させてほしい。
⑦学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8	奨学金制度がある。 概ね整備されている おおむね整備されていると思います 修学支援新制度が拡充され、理工農系学科は恩恵を受けられる。
⑧学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	3.4	毎年入学後に、学校校医による健康診断を行っている。 概ね整備されている あまりされていなかったです
⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.9	学校外の活動における保険などを検討している。 概ね整備されている あまりされていなかったです
⑩学生の生活環境への支援は行われているか	3.1	概ね行われた あまりされていなかったです
⑪卒業生への支援体制はあるか	3.4	教員の支援体制となっている。 資格取得申請の支援は行っている 施工管理2次検定の相談に対応した。
⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか (本校の教育力を一般の方に提供する環境はあるか)	3.3	Wi-Fi整備など通信環境を整備されている。教育環境で古い設備を使い続けている。イーエスに機会をお借りするなどが起きている。 概ね整備されている

VI 教育環境

項目	評価	所見
①教室・実験室等の規模や配置は適切であったか	3.2	土木実験室が狭い。2班に分けて実施している。 概ね適切であった 実験室は少し手狭に感じました イーエス本社別館の使用許可により教室配置の選択肢が増えた。
②校舎内外の施設設備の充実、維持管理は適切であったか	3.7	一部古いものがある。 概ね適切であった おおむね適切と感じます
③実験実習設備、機械類の整備・活用は適切であったか	3.8	古くてもなるべく整備し丁寧に使わせていただいている。共有が不十分。 概ね適切であった おおむね適切と感じます

④蔵書を含めて図書閲覧のニーズに応えられていたか	3.8	最新の図鑑の更新が不十分である。 概ね整備されている
⑤情報機器の充実及び活用状況は適切であったか	3.8	Windows11へ移行ができていない。 PC室、職員室のOS環境更新を希望します 100%使えている自信はないが、格段に効率が上がっている。 概ね適切であった Wi-Fi通信環境が整備された。情報処理室のPCは遅いので改善を希望。
⑥校舎は衛生的（清掃・美化）に管理されていたか	3.9	注意を払い管理している。 概ね管理されている
⑦防災に対する体制は整備されているか	3.7	管理されていると思います 冬期避難経路の確保、電気配線等の点検が必要 概ね整備されている 整備されていると思います

VII 学生の受け入れ募集

項目	評価	所見
①学生募集及び入学選考は、時代の変化、学生の実態に対応したものとなっていたか (少子化、大学全入時代による一般学生の減少。基礎学力、学習適応力の欠如)	3.6	特別コースの設置により新入生の公務員希望者増 学科により状況があり対応に違い一貫した学校の対応には至っていない。 一般学生の減少は公務員へ就職希望者の減少にもつながっている。 概ね対応している 対応されていると思います 不本意ながら複数の不合格者が出た。
②広報活動（体験入学を含む）の内容、方法、実施時期等は適切であったか	3.9	戦略的に広報室で行われているが、現場教員の活動がより必要。 概ね適切である 適切だと思います 事務1人では広報活動に十分な時間を割けない状況がある。
③学納金は妥当なものとなっているか	3.4	物価高のため、妥当だと思えない。 かなり学校独自の学費免除制度が使われている。 概ね妥当である 妥当だと思います 特別コースに手厚く学費免除を行い、良い学生を集める。

VIII 財務

項目	評価	所見
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか (本校HPの情報公開にて開示)	3.1	何とも言えない。 不要な施設、備品等購入の見直しが必要では 自立的な運営に至っていない。寄付金制度の変更等により工夫がある。 概ね安定している 入学者が毎年安定していれば問題ないと思います 在校生数数の安定的確保が中長期的な学校共通課題と認識しています。
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.4	財務は中々厳しい。 学生定員数に満たしていない状況 概ね妥当である 妥当だと思います
③財務についての会計監査が適正に行われているか	4.2	適切に行われている 適正に行われていると思います

IX 法令等の遵守

項目	評価	所見
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか (専修学校設置基準)	3.9	概ね運営がなされている おおむね適正な運営されていると思います
②個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4.0	新しいネットワークの導入後の検証が必要 概ね対策がとられている
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8	おこなっているが完成度は高くない。 自分で改善できるものは行っている
④自己評価結果を公開しているか (本校HPの情報公開にて開示)	4.2	HP上で行っているが、さらに充実の余地がある。 公開されている

X 教育活動全体及び学生の実態について、昨年度と比較して良かった点・悪かった点

- ・協働体制については改善されていると思われる。今後、情報系や測量の器械の更新に予算が費やされ、他の分野に振り分けることができない恐れがあるので、分野別に予算を付けた方が良いと思われる。
- ・入学者選抜法について改善が必要である。過去4年間のAO入試による評価はポジティブであると考えている。少子化を含め社会の変化の中、学校存在を考えるヒントがあると考える。一方、学校組織の効率化を図るため学内の業務内容について人的交流がさらに必要と考える。
- ・良かった点：①Wi-Fiが充実したこと。②イーエス総合研究所別館を使うことになったことで空調設備の件が改善された。
- ・悪かった点：①学校行事の翌日に欠席者多く出たクラスが出たこと。②E Cのクラスで退学者が2名出たこと。③学生運転しているバイクと対向車との接触事故があり学生が重傷の怪我をしたこと。④2年制の応募が少ないこと→公務員希望者の減につながる。
- ・良かった点：今年は大きな混乱もなく、学生が資格取得、技術習得を目的として学習に取り組んでいたこと。
- ・悪かった点：昨年の暴力・ハラスメント行為などに引き続き、今年も、身内の介護、本人の病気などによる教職員の退職により、学生や他職員に急な対応を迫る事態が起こったこと。
- ・今年度が初年度でした。
- ・今年度からの採用のため過年度との比較が十分にできませんが、他の教育機関と比較すると学生支援や授業内容、資格支援など総合的に比較的充実した状態と感じます。めまぐるしい社会変化に対応しながら、限られた学修期間で効果的な成果を挙げ続けるためには、常に工夫とスピーディな改善を続けなければならないのと同時に、学習面の配慮が必要な学生への個別フォローも並行して進めなければならない難しさも痛感した一年でした。また、対象クラスの中で学習度合いに差がある場合や、思考の「癖」にはまってしまう学生に、どのような授業あるいはフォローを進めるのが最適なのかという点も試行錯誤しているところです。
- ・Wi-Fi整備により通信環境がスムーズになった。
- ・学生が1級施工管理に合格した。
- ・事務が1人体制に戻ってしまった。
- ・一部の学生に遅刻、欠席が多い。